

【緑区】令和2年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和2年6月9日 午後2時26分 ～ 午後3時44分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB
出席者	<p>【座 長】 齊藤達也 議員</p> <p>【議員：3名】 鴨志田啓介 議員、今野典人 議員、高橋正治 議員</p> <p>【緑区：28名】 岡田展生 区長、植木八千代 副区長</p> <p>室谷洋一 福祉保健センター長</p> <p>市川一弘 福祉保健センター担当部長</p> <p>新田巧 緑土木事務所長</p> <p>齋藤優子 緑図書館長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和2年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計当初予算）</p> <p>3 令和2年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発 言 の 要 旨	<p>1 令和2年度 緑区運営方針 （区長説明）</p> <p>今野議員：目標達成に向けた施策「1 安全・安心なまち」の「昨年度発生した台風への対応状況の検証」について、今までの避難場所を見直さなければいけない部分もあるのではないかと。白山地区の避難場所は、鴨居小学校から鴨居中学校への変更を検討いただきたい。</p> <p>山田総務課長：昨年の台風19号の時は鴨居小学校でしたが、鴨居中学校に変更し、地元の皆さまにもご説明してまいります。</p> <p>高橋議員：コロナ対策の点から、他の自治体では災害時も3密を避ける、避難所を増やして距離を取るなどの準備を始めているが、緑区の準備の進捗状況は。</p> <p>山田総務課長：避難場所をできるだけ多くするなど、3密を防ぐ対策を考えており、別途ご説明させていただきます。</p> <p>鴨志田議員：目標達成に向けた組織運営に「チーム力・職員力を高めます」とあるが、コロナ対策において苦労した点、難しかった点は。</p> <p>山田総務課長：7割位の勤務削減と言われていた中で、区役所は窓口業務であることから、区民の皆さまにご不便をおかけしないよう3割を自宅勤務として対応しました。感染予防対策には工夫して取り組みました。</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計当初予算）</p>

(区長説明)

3 令和2年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

(区長、副区長説明)

【11 高齢者生きがい推進事業】

鴨志田議員：シルバーフェスティバルの内容は。

岩崎高齢・障害支援課長：老人クラブと一緒に公会堂で行うイベントで、歌や特技などをステージで発表する貴重な機会となっています。

鴨志田議員：囲碁・将棋大会とあるが、囲碁・将棋はマインドスポーツの一つで、最近では若い人たちもやっている。高齢者限定の事業ではなく、多世代交流イベントにしたらどうか。囲碁・将棋がもたらす教育的効果の観点からも提案したい。

岩崎高齢・障害支援課長：高齢者の社会参加や交流を目的としている事業ですが、様々な世代と交流することで生きがいを感じられるよう、考えていきたいと思います。

【24 読書活動推進事業】

鴨志田議員：貸出用CDブックは緑図書館独自の取組で、とてもよいと思っている。CDブックの仕入れ値はどの位か。

齋藤緑図書館長：金額は様々で、メンテナンスにも経費がかかっています。CDブックは好評で、現在125作品用意しています。

【全 般】

今野議員：コロナ対応として、イベント開催時の手指消毒、マスク着用のほか、検温は行わないのか。

伊藤危機管理・地域防災担当係長：避難所では検温を行う予定ですが、イベントでは神奈川県チェックシートに基づき、参加者に体調等を確認する形を考えています。

高橋議員：コロナによって中止、延期せざるを得なかった事業の代替案について、3密を避けるなど新しい生活様式で実施するのか、来年度に持ち越すのか、今後の方向性は整理されているのか。

岡田区長：感染状況のフェーズは日に日に変わっています。フェーズごとの一定の考え方を参考にしながら、中止、延期等の整理をしています。

高橋議員：コロナにより人とのコミュニケーションや交流が分断されてい

	<p>ると感じるが、民生委員やこんにちは赤ちゃん訪問による人の見守り事業はどう変化しているのか。休止状態か。</p> <p>米岡福祉保健課長：民生委員は、これまでは対面が原則でしたが、インターホン越しや電話での会話、また電気の点灯具合を見るなど、広い意味での見守りを取り入れています。</p> <p>五十川こども家庭支援課長：こんにちは赤ちゃん訪問は休止中ですが、訪問員の定例会で今後のやり方を確認し、再開する予定です。こども青少年局からは、玄関先で短時間訪問という方法を示されています。</p> <p>齊藤座長：コロナ対応に関して、各所管で感じていることを伺いたい。</p> <p>室谷福祉保健センター長、市川福祉保健センター担当部長、新田緑土木事務所長、川崎緑土木事務所副所長、山下区政推進課長、内山学校連携・こども担当課長、岩岡地域振興課長、高橋資源化推進担当課長、常盤木税務課長、日比野税務課担当課長、黒柳戸籍課長、古家生活衛生課長、高橋生活支援課長、西原保険年金課長より、各所管の状況について説明</p> <p>今野議員：具体的にどうやっていけば病院での感染は防げたのか。</p> <p>室谷福祉保健センター長：区内の比較的規模の小さな病院では、マスク、手袋等の不足もあり、大病院並みの感染管理が難しかった部分もあると思います。そこで、不足物品を区から提供するとともに、保健師が病院に伺い、必要な指導・助言を行いました。</p>
備 考	